

第6回緊急消防援助隊全国合同訓練



静岡県 危機管理部 消防保安課
第6回緊急消防援助隊全国合同訓練プロジェクトチーム

緊急消防援助隊とは

- ・ 全国的な消防応援の制度及び同制度に基づく消防部隊。
- ・ 「**阪神・淡路大震災**」の教訓をもとに、**平成7年6月に創設**。
- ・ 被災地の消防力のみでは対応困難な大規模・特殊な災害の発生に際して、発災地の市町村長・都道府県知事又は消防庁長官の要請により、出動し、都道府県単位の部隊編成がなされた後、救助活動を実施。

— 実災害での活動実績から、更なる迅速・的確な広域対応体制の拡充の必要性を認識 —

平成23年(2011年) 東日本大震災



平成28年(2016年) 熊本地震



令和3年(2021年)
熱海市土石流災害



※ 出動実績: **43回** / 登録部隊数: 創設当初1,267隊⇒**6,500隊以上**(令和4年8月1日現在)

緊急消防援助隊全国合同訓練の開催実績等

回数	開催年月(実動)	開催地	想定	参加部隊・人数
第1回	平成7年11月	東京都	首都直下地震	135隊(1,500人)
第2回	平成12年12月	東京都	首都直下地震	206隊(1,922人)
第3回	平成17年6月	静岡県(清水区三保)	東海地震	386隊(1,953人)
第4回	平成22年6月	愛知県	東南海地震	411隊(2,138人)
第5回	平成27年11月	千葉県	首都直下地震	582隊(2,361人)
第6回	令和4年11月	静岡県	<u>南海トラフ地震</u>	<u>約670隊</u> (2,700人以上) ₃

訓練の重点推進事項

「南海トラフ地震における緊急消防援助隊アクションプラン」の検証

(総務省消防庁 策定)



【アクションプランのポイント】

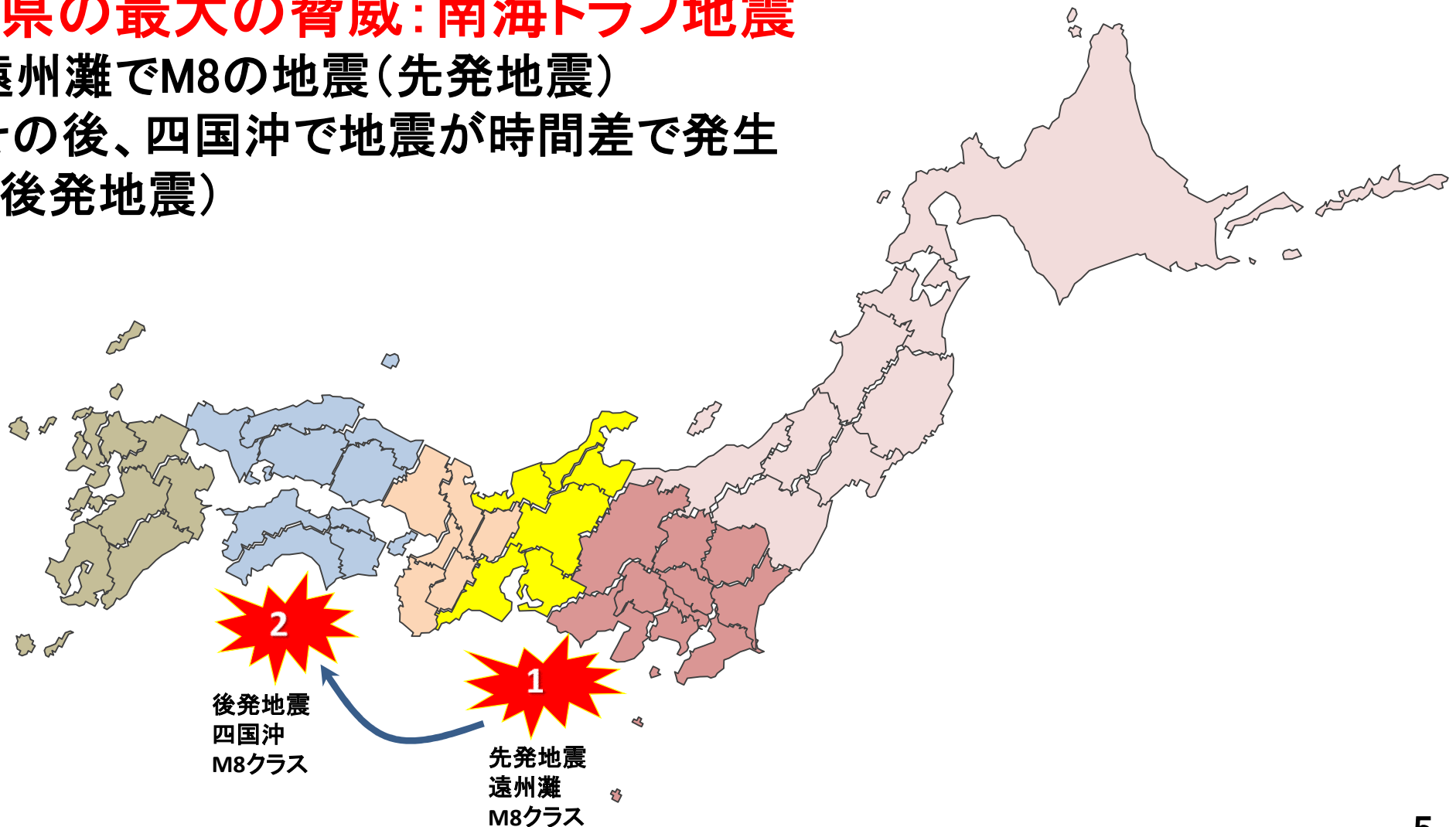
人命救助の限界となる「72時間以内」の迅速・的確な初動対応

- ① 南海トラフ地震発生後、**応援可能なすべての緊急消防援助隊を、一斉に迅速に投入**
- ② 速やかに部隊の**応援先を決定し、初動時の迅速性を確保**
- ③ 被害状況などに応じて、柔軟に**応援先を変更**
- ④ 空路や海路など多様な進出手段を想定し、**遠方からの迅速な進出に対処**
- ⑤ 後発地震発生時には、その被害状況と後発地震の被災地の状況を踏まえ、**応援先の変更、部隊移動等を実施**

訓練想定

本県の最大の脅威：南海トラフ地震

- ・遠州灘でM8の地震（先発地震）
- ・その後、四国沖で地震が時間差で発生（後発地震）



訓練内容（実動訓練）

◆ 目的

「南海トラフ地震における緊急消防援助隊アクションプラン」の実践・検証（特に参集）、土砂・風水害機動支援部隊等の新設部隊の運用、関係機関との連携強化を重点的に取り組み、緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を図る。

◆ 実施日

令和4年11月12日（土）、13日（日）

◆ 参加機関

都道府県緊急消防援助隊、県内消防本部、関係都道府県、関係消防本部、防衛省、警察庁、国土交通省（海上保安庁、TEC-FORCE）、DMAT等

◆ 実施場所

- ・メイン会場：富士山静岡空港西側の県有地
- ・サブ会場：遠州灘海浜公園建設予定地
- ・サテライト会場：県内4か所（別掲）

◆ 訓練の主な区分

- ・部隊参集訓練
- ・宿営訓練（エコパ・外神スポーツ広場）
- ・部隊運用訓練（合計25想定で計画）

新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底したうえで、実施

実動訓練会場配置図

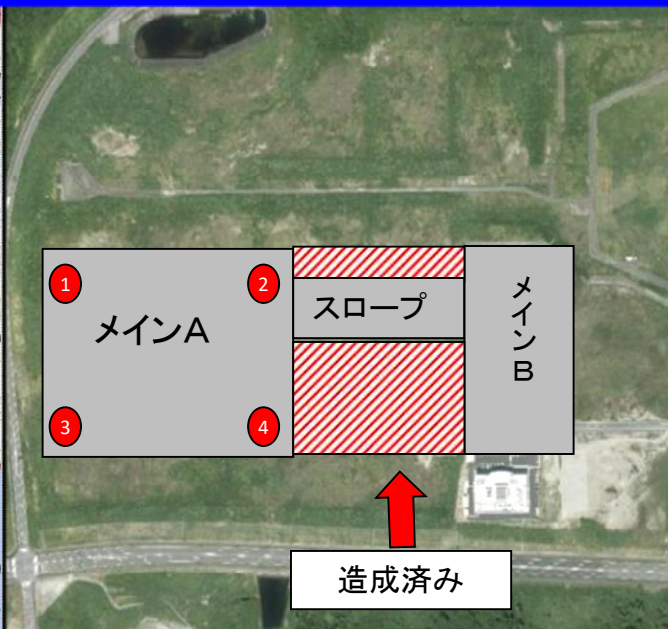
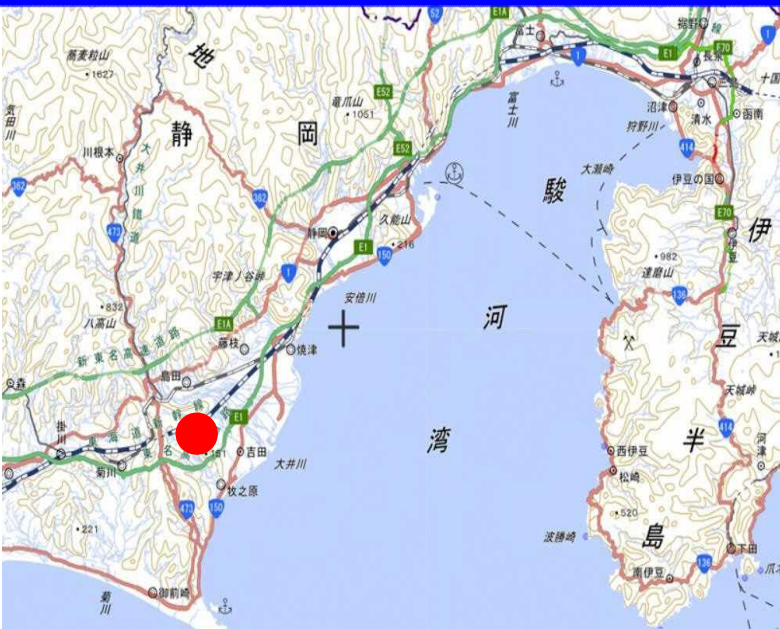
- 【凡例】**
- : 部隊運用訓練会場(6箇所)
 - : 輸送連携訓練会場
(航空4箇所(内静岡県外1箇所)、海上2箇所)
 - ▲: 宿営訓練会場(3箇所)



国土地理院地図を使用

メイン会場概要

富士山静岡空港西側県有地



【面積】メインA・B 約10ha

<メイン会場>

- ・初動検索訓練(ドローン運用)
- ・土砂災害救出訓練
- ・列車脱線事故救出訓練
- ・中高層建築物(倒壊)救出訓練
- ・毒劇物漏洩災害対応訓練
- ・大規模転院搬送訓練(病院避難)
- ・地下街崩落事故救出訓練
- ・多重衝突事故救出訓練
- ・現場救護所訓練 など



サブ会場概要 遠州灘海浜公園建設予定地

訓練イメージ図

訓練使用面積(約3.3ha)



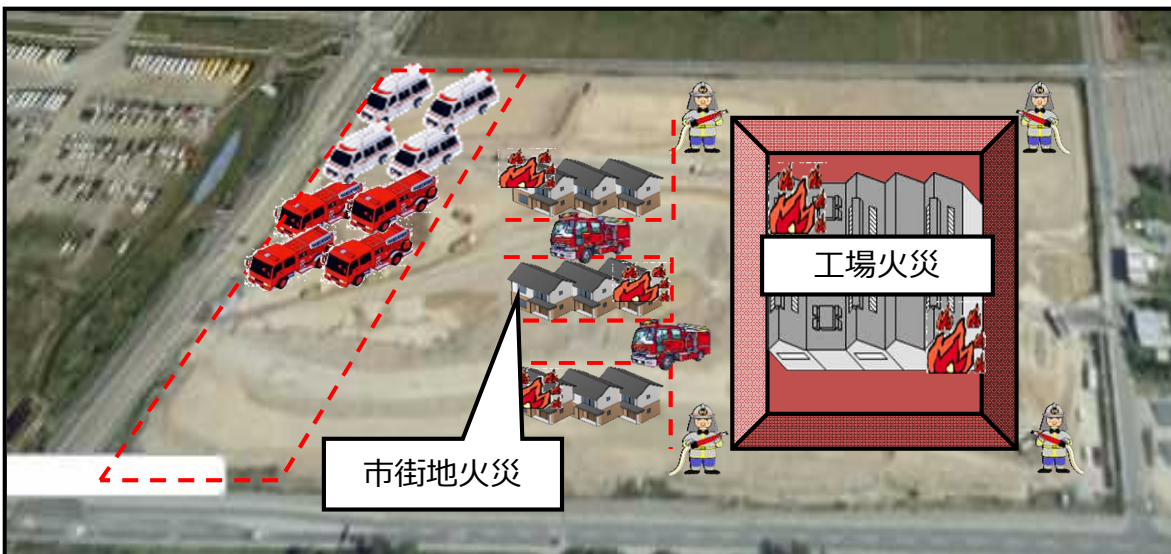
訓練イメージ図



大規模津波災害対応訓練

訓練イメージ図

訓練使用面積(約3.8ha)



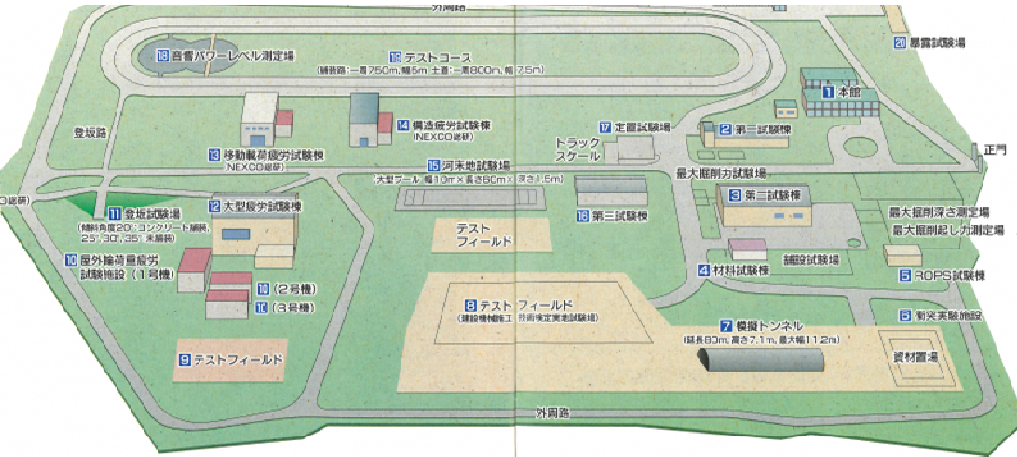
訓練イメージ図



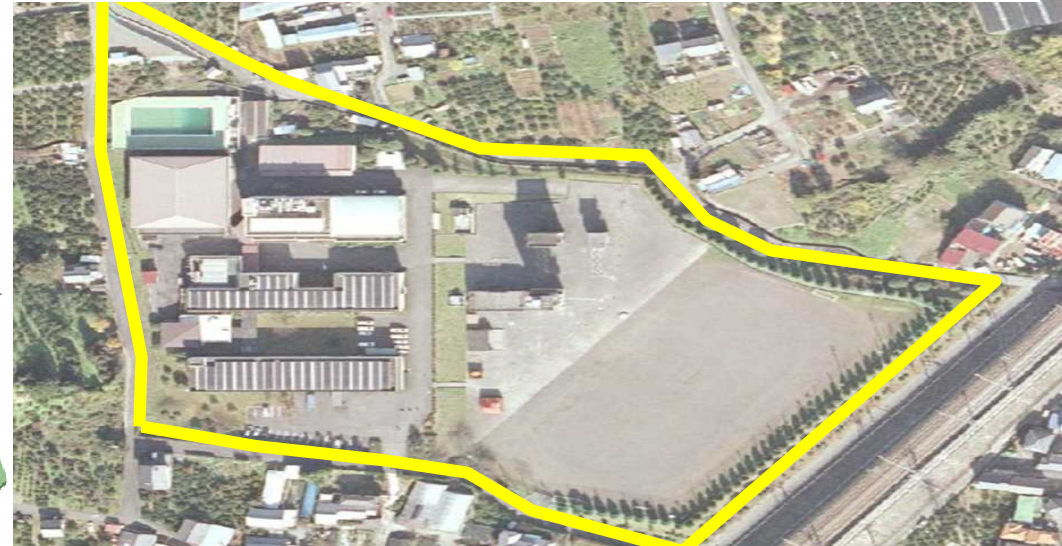
大規模市街地火災対応訓練

サテライト会場の概要

①(一社)日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所<富士市>



②静岡県消防学校<静岡市清水区>



③ENEOS(株)清水油槽所<静岡市清水区>



④安田造船所跡地ほか<下田市>



海上保安庁のヘリコプターが洋上の要救助者を
ホイスト救助し巡視船へ収容 など